

関係者各位

本日(6日)発生した大飯発電所3号機の補機制御盤での警報発生に係る続報です。

不具合が確認された制御系A系のCPUカードのリセット操作を11時21分に、警報のリセットを11時40分に行い復旧しました。

現在、制御系はB系で制御を行い、A系が待機状態となっています。

警報発生の原因については、過去にも同様の警報が発生したことがあり、それらの際と同様、CPUカード内でのデータ処理において、一過性の不具合が発生したと推定されます。

-----

(以下、第1報の内容)

本日(6日)7時51分、大飯発電所3号機において、補機(加圧器比例ヒータ、格納容器の給排気ファン、補助建屋の給排気ファンなどの非安全系機器)を制御する制御盤の不具合を示す警報が発生しました。

当該制御盤は2系統(A系, B系)の制御系を有しており、今回は通常使用しているA系が異常により停止し、B系へ自動的に切り替わり制御されており、補機の機能は問題なく維持されています。

現場を確認したところ、制御盤内にあるCPUカードの不具合が確認されましたので、現在、当該カードのリセット操作等の対応を進めています。

9時30分現在、大飯3号機に異常はなく、運転を継続しています。

外部への放射性物質による影響はありません。

現在、保安検査官が現場確認等を行っています。

以上